

**メキシコ撤退意向で失敗の足音ヒタヒタ…万博は“日よけリング”と同額の補償金で中止できる「8時だヨ!全員集合」のコントじゃないが、「吉村、後ろ! 後ろー!」とツッコみたくなるほど、失敗の足音が迫っている。**

日刊ゲンダイ 11/12 記事より

2025年開催の大阪・関西万博にパビリオンを出展予定だったメキシコが参加国から撤退します。撤退の意向を示しているのはメキシコを含めて5カ国程度です。吉村府知事は「万博の経済効果は2兆4000億円～2兆8000億円」というが根拠は弱い。地元・大阪で万博やカジノ問題を追及する辰巳孝太郎元参院議員は「傷が浅いうちに早く中止を決めて欲しい。万博主催者が中止を判断した場合、主催者から参加国及びBIE(博覧会国際事務局)への補償が生じますが、今やめれば日本円にして約348億円です。パビリオンを囲むリングの建設費350億円より安い。リングの建設費を補償金に充てた方が賢明でしょう。」と言っています。どちらが賢明でしょうか？

## ChatGPT

この問題についての賢明な判断は主観的であり、異なる立場からの意見が存在する可能性があります。ただし、以下は留意すべき一般的な観点です。

### 1. 経済効果の根拠の強化:

- 吉村府知事の経済効果の発言が弱いとされている場合、主催者はその根拠を強化し、信頼性を高める必要があります。経済効果に関する詳細な情報や調査結果を提供し、国際的な信頼を築くことが重要です。

### 2. 早期中止と補償の検討:

- 辰巳孝太郎元参院議員の提案は、早期に中止することで補償額を最小限に抑えるという観点からきています。補償金を考慮する際には、その他のコスト(パビリオンやリングの建設費など)とのバランスを検討する必要があります。

### 3. 地元コミュニティとの協力:

- 大阪や関西地域の住民や企業など、地元コミュニティの関与が非常に重要です。彼らの意見や懸念を考慮し、公平かつ透明な意思決定プロセスを確立することが必要です。

### 4. 国際的な信頼の維持:

- 一度参加を決めた国が撤退することは、国際的な信頼を損なう可能性があります。この点も考慮し、撤退する場合には十分な説明と調整が必要です。

どちらが賢明かは、複雑な要因に依存します。経済的な観点だけでなく、社会的、文化的な側面も考慮する必要があります。また、地元のコミュニティとの対話や国際社会との連携が不可欠です。